

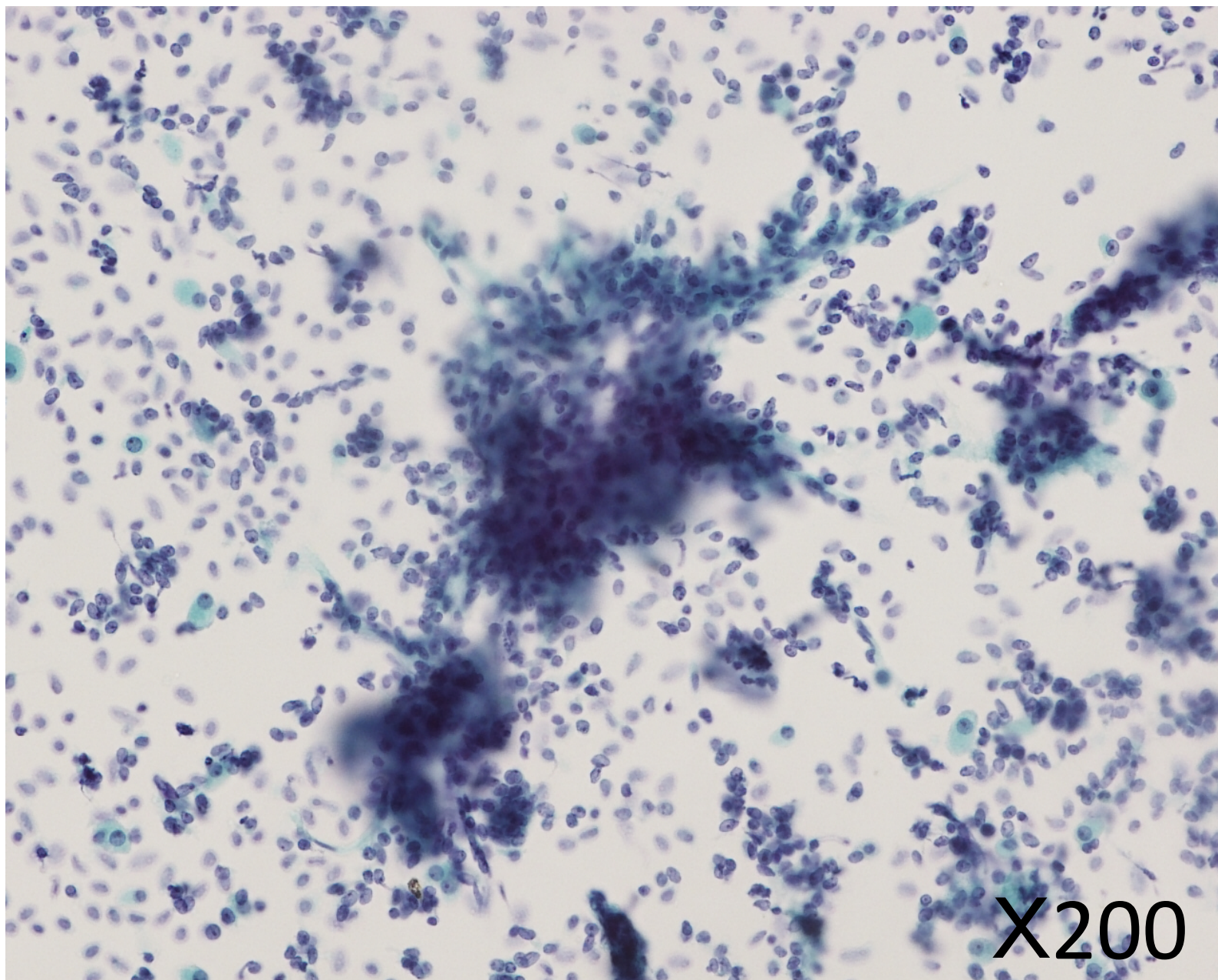
症例 2

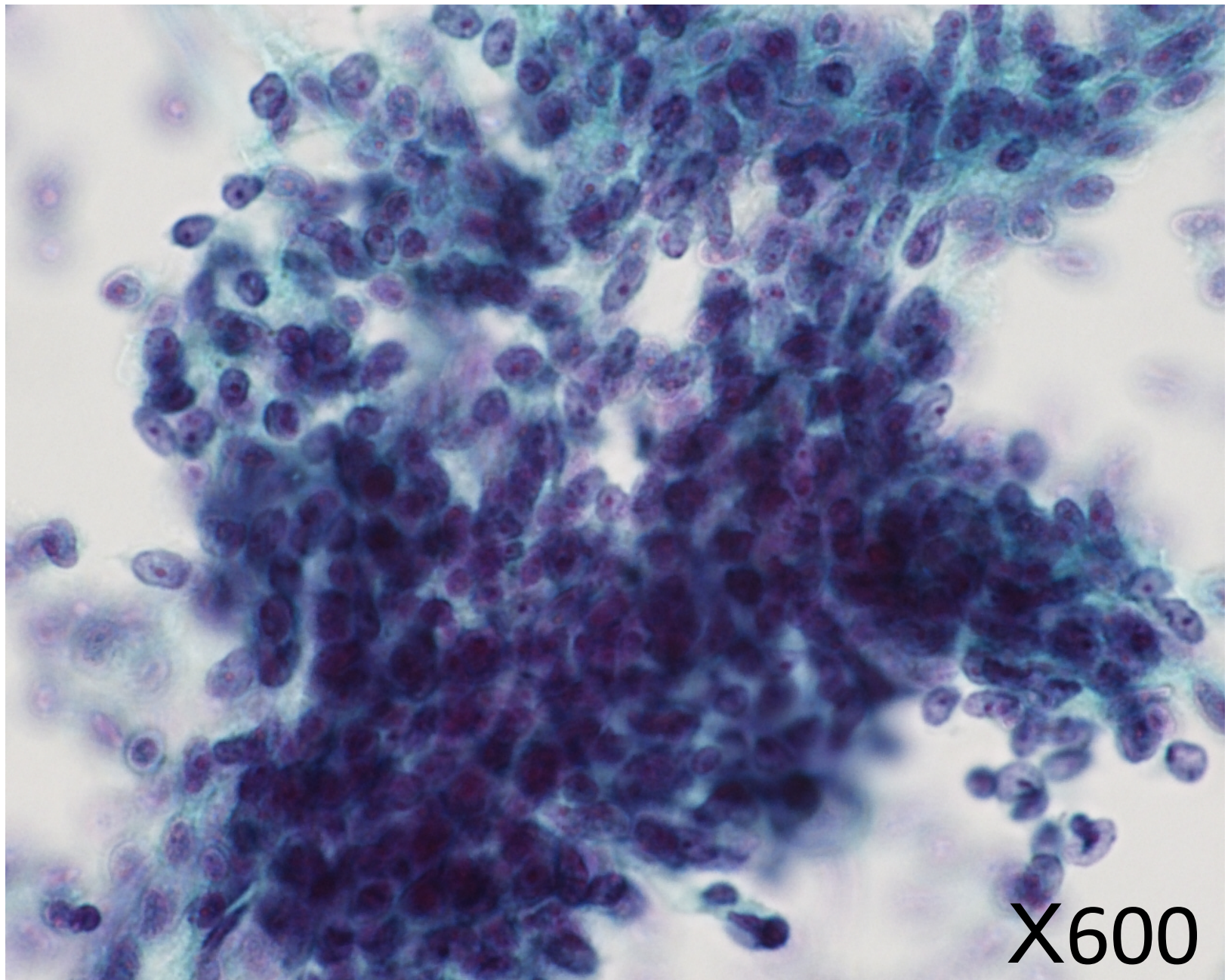
症例:50代、女性

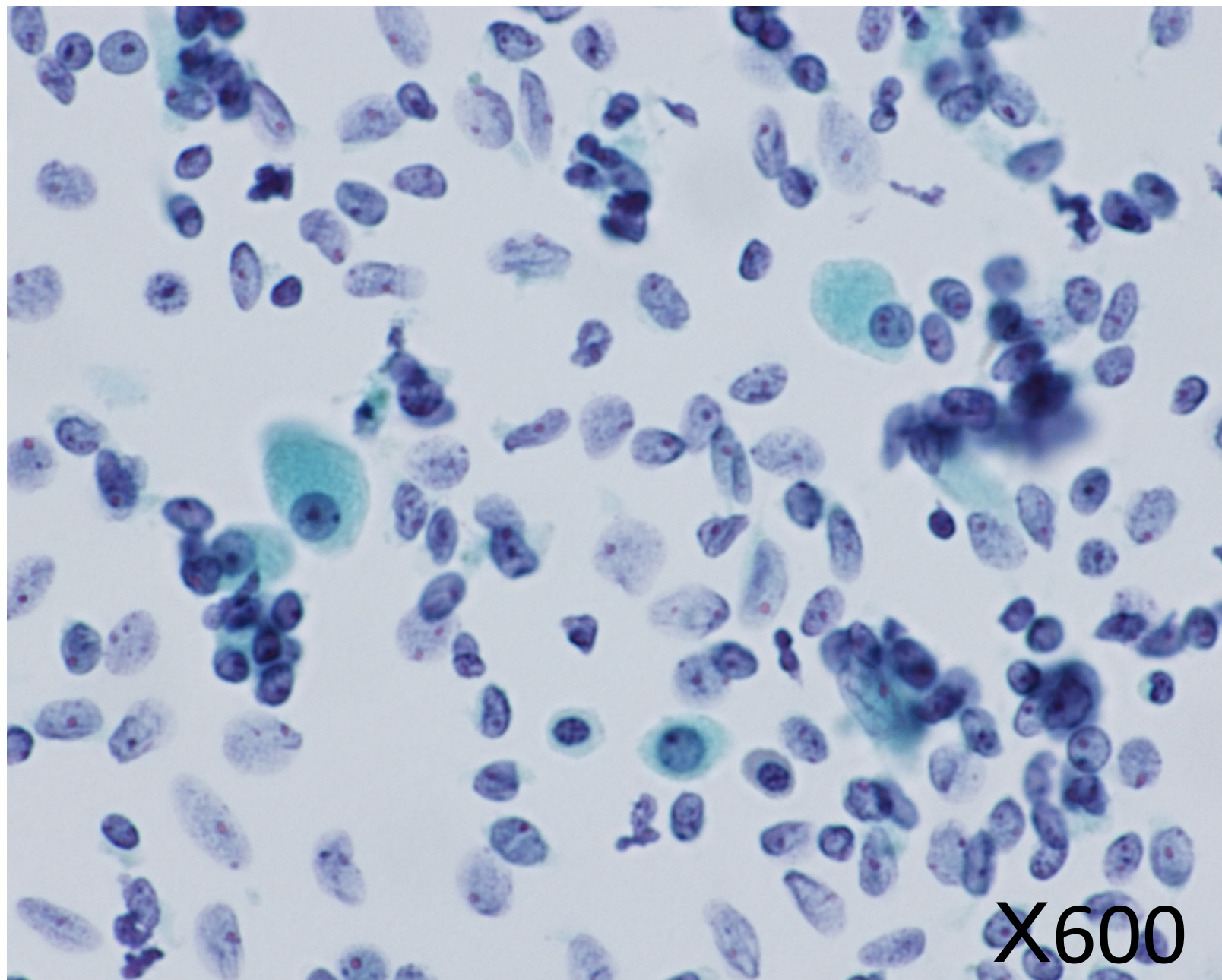
検査材料:左卵巢腫瘍 穿刺吸引検体 LBC

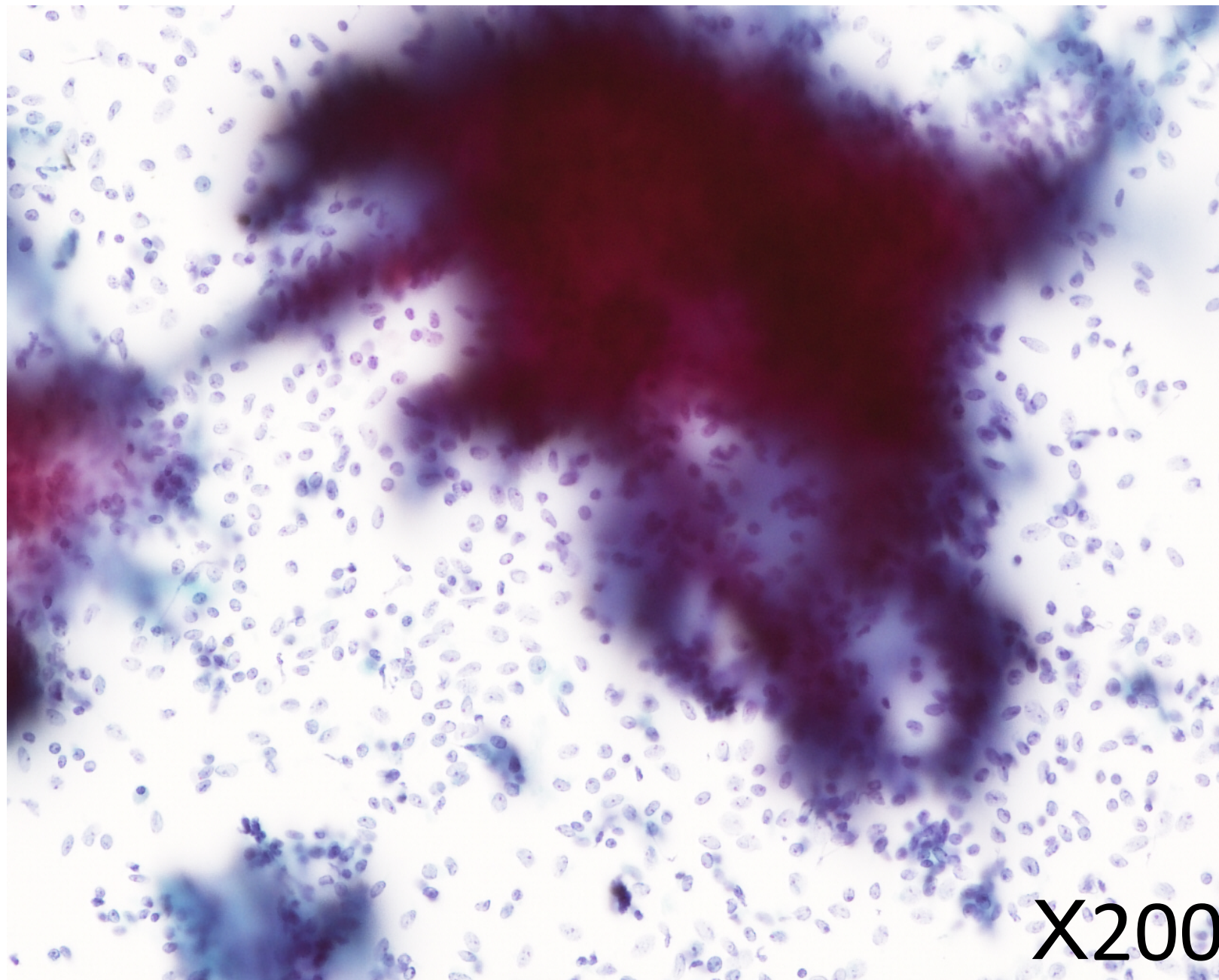
病歴:

約13年前に右卵巢子宮内膜症性嚢胞と子宮筋腫に対し、右付属器切除術+子宮筋腫核出術を施行。術後に左卵巢嚢胞性病変が出現し、子宮内膜症性嚢胞疑いにて4年間以上経過観察していた。特に自覚症状はなかったが、左卵巢嚢胞嚢胞性病変が増大し、新たな子宮筋腫と左卵管腫大(卵管留血症疑い)も出現したため、子宮全摘術+左付属器切除術を施行。左卵巢には子宮内膜症性嚢胞も認められたが、それと別に長径約3cmの割面が黄色調の腫瘤あり、同部より穿刺吸引にて細胞を採取した。

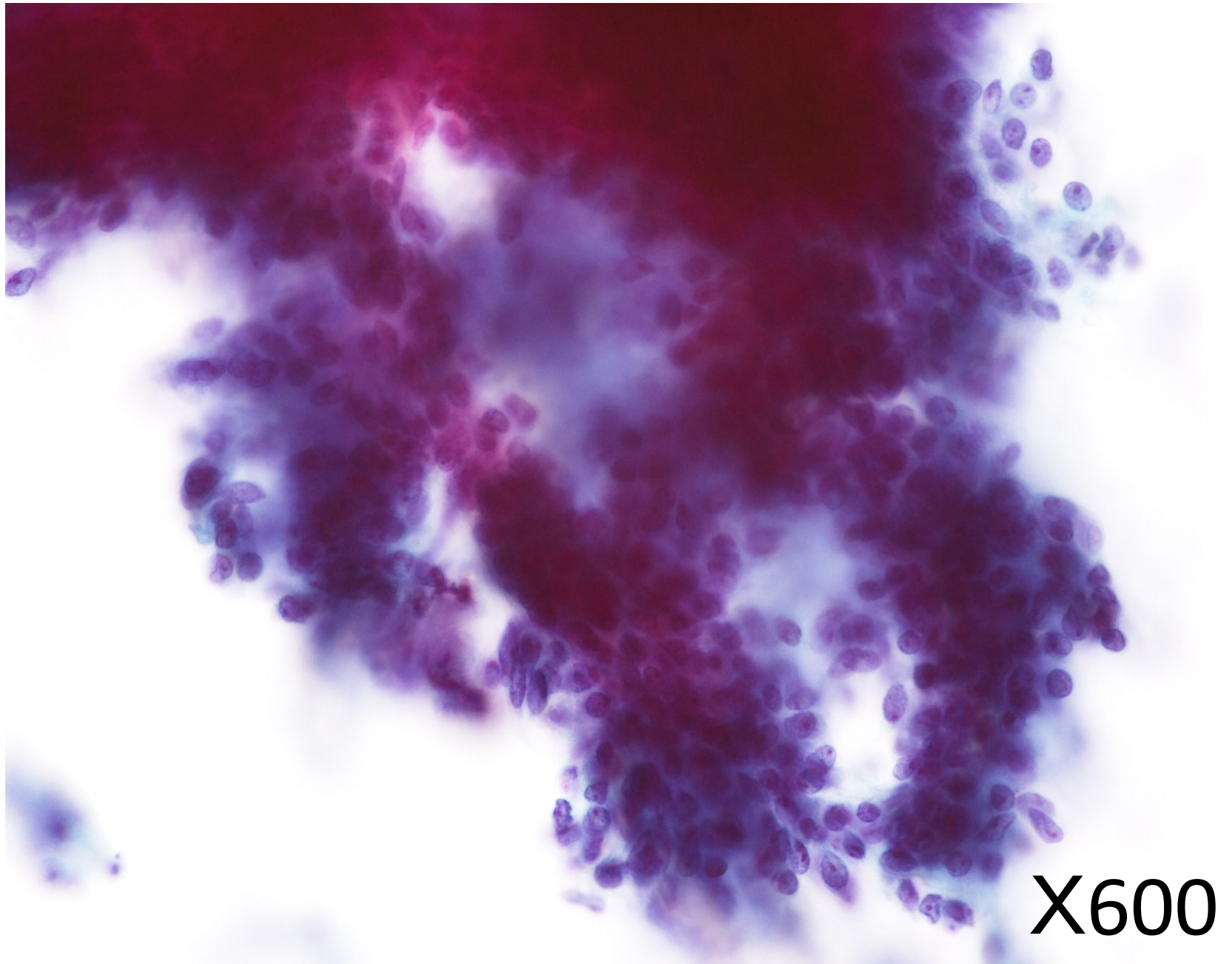








X200



選択肢

1. 線維腫
2. セルトリ細胞腫
3. ライデック細胞腫
4. セルトリ・ライデック細胞腫
5. 未分化胚細胞腫